

社員の所在・混雑状況把握

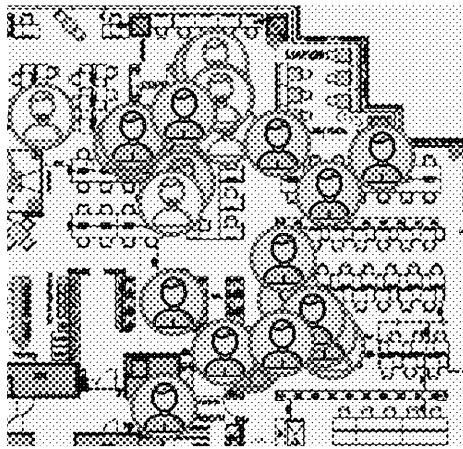
高千穂交易 クラウドで生産性向上

高千穂交易は企業の生産性向上を支援するクラウドサービス「Croom（クルーム）」を一日に発売する。事務所での社員の居場所や会議室の利用状況などの情報を把握し、出社時の利便性を高める。温度や湿度といった環境情報や、ネットワークの稼働状況も可視化し、働きやすい環境の構築につなげる。消費税抜きの価格は初期費用が25万円。1ユーザー当たりの月額ライセンス費用は400円から。発売後3年間で250社への導入を目指す。

高千穂交易が取り扱う米シスコカメラの無線LANアクセスポイント、米ヴェルカダの監視カメラや環境セン

サーなどを組み合わせてクルームを提供する。例えば社員の所在を確認する際は、無線LANアクセスポイント

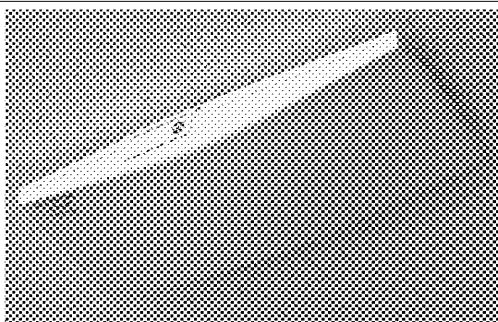
と社員が所有するパソコン（PC）などを活用する。さらに、会議室の利用者が入室時にボタ



「クルーム」を通じて事務所の混雑状況や人の居場所を把握できる

ンを押したり、ドアの開閉を検知するセンサーを設置したりすることで、会議室の利用状況を分かる仕組みにして、テレワークと

同社はクルームを含むクラウドサービス&サポートセグメントを成長領域と位置付けている。



米シスコカメラの無線LANアクセスポイントなどを活用する

オフィスへの出社を組み合わせたハイブリッドワークを行う企業が増加。席を固定しないフリーアドレス制を導入する会社も増え、社員の所在の把握が困難な例もあった。高千穂交易はクルームの活用によりこうした課題の解決を図り、顧客の「スマートオフィスを実現する」（井藤政樹執行役員）。

複数のアクセスポイントにおけるネットワークの稼働状況の比較も可能。これにより、不要なアクセスポイントを減らして経費削減につなげたり、アクセスポイントを増やすべき場所を発見したりできる。